

もしかして詐欺？ あやしい話にご注意を



交通防犯課 ☎ 66-1156

特殊詐欺被害(7月末現在)	
県内	
被害件数	394件 (前年+ 39件)
被害総額	約9億2,800万円 (前年+ 4億350万円)
市内	
被害件数	1件
被害金額	74万円

特殊詐欺被害は、全国的には減りつつありますが、愛知県のみで見ると、件数は前年より増えています。さらに、被害額は前年に比べ約2倍になっており、1件当たりの被害額が増加していることも分かりました。

**全国的には減でも
愛知県は増**

巧妙化する手口
私たちの身近に潜んでいる特殊詐欺。その手口は、年々巧妙になっており、被害者は後を絶ちません。もし、あなたが詐欺被害にあってしまったら…ほとんどの場合、犯人が逮捕されたとしてもだまし取られたお金はあなたの元に戻ってきません。
自分の財産を守るために、特殊詐欺について「なぜだまされるのか」「どうしたらだまされないか」を考えましょう。



急増中!

キャッシュカードを狙う詐欺



- ①警察などを装い電話をかけ、「キャッシュカードが偽造されている」などと言ってくる
- ②家を訪問し、キャッシュカードと暗証番号を引き出す

ここが詐欺のポイント!

警察・市役所・銀行から電話で「**キャッシュカード**」という言葉が出たら**詐欺**です。

1人で悩まないで、まずは相談を



蒲郡警察署生活安全課
巡査長 後藤 葵

特殊詐欺は、あらゆる手口で巧みにお金を取ろうとしてきます。それぞれ方法は違いますが、共通していることは、被害者に考える隙を与えないことです。詐欺の手口は、冷静になって考えれば詐欺だと分かるものでも、次から次へと逃げ道を奪われれば正しい判断をしにくくなるものです。

もしお金にまつわるあやしい電話があったら、まずは1度電話を切り、家族など周りの人に相談しましょう。また、知らない番号からの電話には出ないようにしたり、通話を録音することも効果的です。

被害者の多くが、「自分はだまされなかった」と言います。詐欺を他人事だと思わず生活をしましょう。

固定電話に設置できる
外付録音機は
警察署で販売中!



録音チュー
300円